

栃木県水産試験場からのお知らせ

—大人のサマースクール「そうなんだ～・アユ編」—

水産試験場

【保護者の皆様へ】

サマースクールは、当水産試験場において、平成29年度から小学生を対象に、夏休みに魚に触れあう機会として開催し、好評を得てきました。今年度も8月頃に実施予定をしておりましたが、コロナ関係の影響を踏まえ、**今年度の開催を見送る(中止)**ことといたしました。

今回、授業代わりに、「そうなんだ～・アユ編」を掲載いたします。お子様と一緒に「魚」について興味を持っていただくきっかけになれば幸いです。

質問1 アユはどうして漢字で書くと鮎(魚に占う)なの？



日本書紀で神武天皇が、川に酒壺を沈めて魚が酔って流れるようであれば、戦いに勝って国を治めることができるだろうと言って、壺を沈めたところ魚(アユ)が流れて戦いに勝利したと書かれているところから、この字を充てたといわれています。天皇陛下の即位式に用いられる万歳旗にも、酒壺と5匹のアユが描かれています。

質問2 アユはどうして友釣りにつれるの？



アユは、海ではワムシという動物プランクトンを食べて成長して、川に上ってくると川底の石についた藻類(コケ)を食べるようになります。このコケを大量に食べるために、コケのついた石に近づくほかのアユを追い払い、縄張りを作ります。

そのため、おとりのアユが近づくといひおおうと体当たりして、おとりアユについた針に引っかかってしまうのです。

質問3 アユはどうして築(やな)でとれるの？



アユは、秋になると、卵を産むため川を下ります。生まれた稚魚が早く海について餌を食べ始めたほうが、生き残りが良いためです。川を下るアユを落ちアユと言い、この習性を利用してアユをとる漁法が築です。

栃木県立郷土資料館(今の県立博物館)の郷土資料調査報告によると、那珂川水系では、幕末から明治初期には本流の大瀬築(茂木町)、荒川の森田築(那須烏山市)の2カ所に築があったと記載されており、古くから築漁がおこなわれていたようです。

質問4 アユの雄雌は見分けられるの？



アユは、7月頃になると尻ビレの形が変化して、雄雌が見分けられるようになります。雄のアユの尻ビレは、前方が大きく尾ビレの方向に向かってなだらかに小さくなります。雌のアユの尻ビレは、途中で深く切り込んだ二山型で、前方の山は大きく、後方(尾ビレに近いほう)は小さいハート形になります。雄の尻ビレより雌の尻ビレの方が大きいため、慣れるとすぐに見分けられます。

質問5 アユが香魚と呼ばれるのはなぜ？



アユは、キュウリのようなにおいがするため香魚(こうぎょ)とも呼ばれています。その他にも、年魚(ねんぎょ:1年しか生きていないため)と呼ぶこともあります。また、英語ではスイートフィッシュ(甘い香りの魚)、学名(世界共通の名前)はプレコグロサス(ヒダヒダの舌:コケを食べるのに適した舌)アルテベリス(背ビレの「高い帆」と言います)。

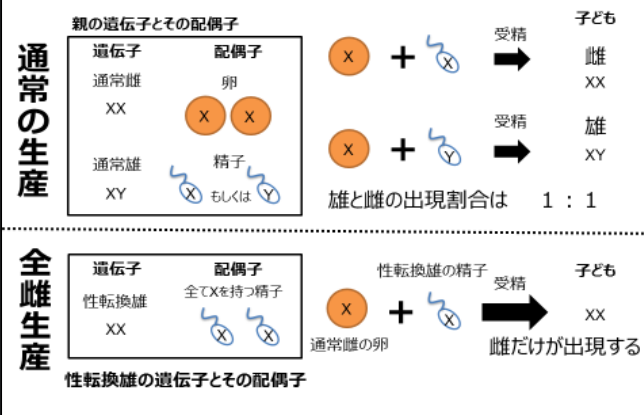
質問6 新聞で全雌アユの記事を見たけど？

アユは、卵でお腹がパンパンになった雌アユが「子持ちアユ」と呼ばれ、高値で売られています。そのため、水産試験場では生まれてくるアユがすべて雌になる技術を開発しました。

魚は、卵や稚魚の時期の水温によって雄や雌に変化したり(メダカ、トラフグ、ヒラメ)、成熟時期に雄から雌(クロダイ、クマノミ)、または雌から雄(キュウセン、サクラダイ)に変化することが知られています。

アユは、これらの魚と違って通常は雄雌の変化はしませんが、雌アユを雄に変え(偽雄:にせおすと云います)、そのアユの精子を使って卵と受精させると生まれる稚魚は全て雌になります。

アユの全雌種苗生産のイメージ



水産試験場で開発した全雌三倍体サクラマスの名称を募集しています。(7月31日まで)

<https://tnap.jp/topics/detail.php?id=2020>